

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について  
 (平成31年度第5報)

栗原市で採取されたツキノワグマの肉について、国の基準値(100ベクレル/kg)を超える放射性セシウムが検出されました。

基準値を超えた地域においては、ツキノワグマ肉を食用として摂取することを控える等、引き続き慎重に対応いただきますようお願いいたします。

なお、ツキノワグマ肉及びイノシシ肉については、平成24年6月25日付で、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しております。

記

1 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所	放射性セシウム		捕獲年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値		
イノシシ	柴田町入間田	45	100	R1.8.7	R1.9.5
	亘理町長瀬字松栗	18		R1.8.15	
	角田市島田字稲場前	19		R1.8.22	
	大和町吉田字三畑	不検出		R1.8.23	
	蔵王町宮字柵林	不検出		R1.8.24	
	仙台市青葉区塩沢	不検出		R1.8.28	
	山元町坂元	26		R1.8.31	
ツキノワグマ	栗原市栗駒文字柿木	25	R1.8.8		
	栗原市一迫嶋躰清水畑	47	R1.8.9		
	栗原市鶯沢北郷菅原	130	R1.8.31		
	大崎市鳴子温泉鬼首字川東	22	R1.9.1		
	大崎市古川宮沢字西館	22	R1.9.2		
	加美町鹿原青野東田	9.5	R1.9.4		

※ 次のURLから、野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。

<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/other/#11>

- 2 測定年月日 令和元年9月5日  
 3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター  
 ゲルマニウム半導体検出器  
 4 検出下限値 13.3~19.4 ベクレル/kg

(参考)

- (1) 不検出  
 放射性物質の濃度が、検出下限値に満たないことを指します。  
 (2) 検出下限値  
 当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定ごとに異なります。  
 なお、測定値及び検出下限値は、セシウム134及びセシウム137それぞれの値を

合算した値であり，測定の結果によりセシウム 134 又はセシウム 137 のどちらかが不検出の場合などでは，測定値が検出下限値を下回ることがあります。